

3. 21年度情報関係補助金の配分結果

21年度は、補助制度の大幅な変更があり、「教育基盤設備」、「ICT活用推進事業」、「ICT活用教育研究支援」として配分が執行された。

「教育基盤設備」、「ICT活用推進事業」は、大学等の申請に対して補助要件からの審査を行う採択制となっており、当初6月の募集、7月の追加募集、9月の追加募集を含めて3回募集を行った。その結果、補助要件を満たしている申請については、「教育基盤設備」が79%の増、「ICT活用推進事業」が18%の増と予算を超えて、採択された。なお、「教育基盤設備」の内、情報機器以外の申請31件を除く採択率は78%、「ICT活用推進事業」は93%であった。

採択件数及び交付額は、以下の通りである。

(単位:千円)

補助項目	申請	補助希望額	交付件数	交付額
教育基盤設備	216件		1,636件	836,082
ICT活用推進事業	202件		2023,470,620	310

「ICT活用教育研究支援」は、特別補助の「各大学等の特色を活かせるきめ細かな支援」の8メニュー、総額1,004億2,144万円の中で高度情報化推進メニューとして以下の通り配分された。配分に際しては、同事業団が21年7月実施の調査結果にもとづき、単価方式による新しい算定方法により補助内示額を算出し、その内示額について大学等に補助金交付申請の提出を求めて確定した。

各大学等の特色を活かせるきめ細かな支援	21年度配分額(千円)	構成比(%)
1. 大学等の質保証メニュー	12,906,942	12.9
2. 学部教育の高度化・個性化支援メニュー	2,563,484	2.6
3. 就学機会の多様化推進メニュー	6,048,295	6.0
4. 大学教育研究高度化支援メニュー	24,785,958	24.6
5. 先端的学術研究推進メニュー	10,366,846	10.3
6. 地域活性化貢献支援メニュー	7,001,443	7.0
7. 大学等の国際化推進メニュー	3,300,159	3.3
8. 高度情報化推進メニュー	33,448,315	33.3
計	100,421,440	100.0

高度情報化推進メニューは、33,448,315千円となり、20年度における補助実績（借入情報通信設備借入、教育学術情報ネットワーク、教育学術コンテンツ、教育研究情報利用経費）の25,226,864千円に対して32.5%増となった。